



The accuracy assessment of delirium by cardiologists in heart failure inpatients

著者名	林 安奈
発行年	2019-03-25
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032398

学位論文の要旨

The accuracy assessment of delirium by cardiologists in heart failure inpatients
(循環器内科医による、心不全入院患者に生じるせん妄の判断と初期対応)

東京女子医科大学大学院
内科系専攻精神医学分野
(指導：西村 勝治 教授)
林 安奈
Psychosomatics に投稿準備中

【要 旨】

心不全入院患者におけるせん妄は再入院や死亡のリスクを高めるため、早期発見と治療が重要である。せん妄を最初に発見する立場にある循環器内科医が、せん妄を正しく判断できているかを検討した報告はない。本研究では、心不全患者に生じたせん妄を循環器内科医が正しく判断できた割合および循環器内科医による初期対応としての薬物療法の実態を把握することを目的とした。連続する6年間に精神科へコンサルトされた入院心不全患者165例のうち、精神科医がせん妄と診断した81例(男性51名、女性30名)を解析対象とした。全体では74.7±13.3歳と高齢であり、NYHAⅢ以上が全体の75.3%を占めた。循環器内科医によるせん妄の正判断群は41例(50.6%)に留まり、せん妄の正しい判断は必ずしも容易ではないことが示された。せん妄と臨床症状が類似するうつ病や不眠症、認知症などとの誤判断の可能性が示唆された。大半のせん妄患者に対しては、循環器内科医による薬物療法は行われていなかった。誤判断群の3例のみ(7.5%)、せん妄を増悪させる薬物療法(ベンゾジアゼピン系薬剤の単独投与や抗ヒスタミン薬)を認めた。主治医である循環器内科医による、せん妄の正確な見極めの重要性が改めて示唆された。